

シンポジウム・ビデオ上映・展示で語る

チェルノブイリ原発事故20年

なにが起きたか、なにが続いているのか



ホニキ病院で産まれたばかりの赤ん坊を抱く母親。ベラルーシでは母乳から放射性物質が検出。1993年 撮影 広河隆一



オクサーナさん

2006年4月16日 日

国立オリンピック記念青少年総合センター(センター棟)

(小田急線参宮橋駅下車7分、地下鉄代々木公園駅下車10分)

13時開場、13時30分開演～17時

シンポジウム参加費 1200円(前売り1000円) 中高生500円

バンドウーラと歌のミニコンサート「チェルノブイリへの想い」

オクサーナ・ステパニウク

(歌手、バンドウーラ奏者、ウクライナ出身)

講演

ユーリー・シチェルバク

(医師・作家、ウクライナ最高会議議長顧問、『チェルノブイリからの証言』著者)

シンポジウム

今中哲二

 (大学教員、京都大学)

広河隆一

 (フォトジャーナリスト、チェルノブイリ子ども基金顧問)

振津かつみ

 (医師、チェルノブイリ・ヒパクシャ救援関西)

ビデオ上映 10時～13時(入場無料)

『The Sacrifice(犠牲者)-事故処理作業者の知られざる現実-』

(25分、日本初公開)他

展示コーナー 13時～18時(入場無料)

事故の概要や被害の状況、救援の取り組み、
広河隆一撮影の写真、子どもたちが描いた絵など

主催:チェルノブイリ20年シンポジウム実行委員会

<http://cnic.jp/modules/chernobyl/>

連絡先:原子力資料情報室 東京都中野区東中野1-58-15 3F

TEL 03-5330-9520 / FAX 03-5330-9530 / e-mail cnic@nifty.com

後援:ウクライナ大使館、ベラルーシ大使館、ロシア大使館

チェルノブイリ原発事故から20年になります。
 1986年4月26日、ウクライナ共和国のチェルノブイリ原発4号炉が
爆発炎上して、大量の放射能をまきちらしました。
 原子炉から半径30kmの範囲や300kmもはなれた高汚染地域が永久に居住禁止となり、
 500もの村や町が消え、40万もの人びとが故郷を失いました。
 放出された放射能のために大人にも子どもたちにもガンや白血病などの病気が多発しました。
**事故の放射能は8000キロもはなれた日本にも飛来し、当時は牛乳を飲む、
 飲まないといった議論も広くおこなわれましたが、20年がたったいまでは、
 そうした記憶も多くの人びとにとって遠い過去の話になっています。**
事故の年に生まれた若者も、はや20歳。史上最悪といわれるこの事故を知らない世代がふえています。
 しかし、現在も汚染地域には500万人の人びとが暮らしています。
**現地では、甲状腺ガンや白血病、そのほかの疾病はいぜんとして多発しており、
 その傷跡はいまも続いています。高い汚染地域から移住した人びとは
 生活環境の急変のために苦しい生活をしいられながら、運命と向きあい、懸命に暮らしています。**
**私たちは、事故20年にあたり、チェルノブイリ原発事故をあらためて知り、
 考えるためシンポジウム、ビデオ上映、展示を企画しました。**
事故後には日本で多くの支援グループが誕生し、いまも積極的に活動を続けています。
 そうした活動の一端にもふれていただければと願っています。
 さらに、日本では54基の原発が運転されています。日本のどこかで事故が起これば、
国土の狭い日本のことですから、破滅的な事態になりかねません。
 そうしたことにも想像力を広げる場になればと考えています。
多くの方のご参加をお待ちしています。

実行委員会参加・賛同団体 (1月10日現在)

NCCチェルノブイリ委員会
 あいこープみやぎ
 伊那谷いのちがたいし連絡会
 エストニア・チェルノブイリ・ヒバクシャ基金
 京大原子炉・原子力安全研究グループ
 グリーンピース・ジャパン
 原子力行政を問い直す宗教者の会
 原子力資料情報室
 原水爆禁止日本国民会議
 原爆の図丸木美術館
 原発・核燃とめようかい
 原発いらない!!ちば
 原発震災を防ぐ全国署名連絡会

原発を考える品川の女たち
 市民ネットワーク北海道
 「終焉に向かう原子力」実行委員会
 ジュノーの会
 ストップ・ザ・もんじゅ
 ストップ・ザ・もんじゅ東京
 世界核被災者医療交流委員会
 大地を守る会
 高木学校
 脱原発下町ネットワーク
 たんぽぽ舎
 チェルノブイリ・アートプロジェクト(APCH)

チェルノブイリ・ヒバクシャ支援関西
 チェルノブイリ救援・中部
 チェルノブイリ共同研究グループ
 チェルノブイリ子ども基金
 チェルノブイリ支援運動・九州
 チェルノブイリ事故20年スタディ・ツアー実行委員会
 チェルノブイリの子も達に・千葉の会
 チェルノブイリの母子支援募金・通販生活
 「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク
 千葉高教組東葛支部「ひよたん島研究会」
 東京草の根原水禁
 東京電力と共に脱原発をめざす会

日本キリスト教協議会
 日本基督教団大阪教区核問題特別委員会
 日本消費者連盟
 日本チェルノブイリ連帯基金
 ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン
 反原発労働者行動実行委員会
 広河隆一 非核平和写真展開催を支援する会
 ふいみん婦人民主クラブ
 三重チェルノブイリ被曝児童救援募金
 雪谷十姉妹の会
 樹技術と人間
 樹七つ森書館

関連企画 下記以外の関連企画もあります。詳しくは <http://cnic.jp/modules/chernobyl/index.php?id=4>

チェルノブイリ原発事故20年講演会

日時:2006年4月14日(金) 14時~18時
 場所:京都大学原子炉実験所(大阪府泉南郡熊取町)
 講演者:Y シチェルバク 作家・医師、ウクライナ)
 V ティーヒー(ウクライナ科学アカデミー・サイバネティクス研究所)
 今中哲二(京都大学)
 連絡先:今中 TEL/0724-51-2443 e-mail/imanaka@rri.kyoto-u.ac.jp

チェルノブイリ原発事故20年静岡講演会

日時:2006年4月18日(火) 18時半~20時半
 場所:掛川市生涯学習センター・ホール
 講演者:Y シチェルバク、V ティーヒー
 連絡先:T/F 0557-81-7577

チェルノブイリから20年 ノーモア・チェルノブイリ

日時:2006年4月22日(土) 11時~16時
 午後1時~1時40分 オクサーナ・ステパニユックさんミニコンサート
 午後2時~3時 久保浦真人さん講演「原爆被ばく者が見たチェルノブイリ」
 全日 本橋成一さん写真展・ベラルーシの民芸品販売
 チェルノブイリの子も達にクリスマスカードを書こう ほか
 会場:カタログハウスの学校東京校
 入場料:無料 <http://www.cataloghouse.co.jp/>

各地での催し

秩父・姫路・広島・亀山・横浜・東京・狭山・石岡で、
 ナターシャ&カーチャ・グジーさんのコンサートと広河隆一さんの写真展。